

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	双海地域事務所管理事業	会計名称	一般会計		担当課	双海地域事務所	
		予算科目	2 款 1 項 8 目	事業番号	280	所属長名	大谷基文
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	武知 斉	
法令根拠等	伊予市支所設置条例、同施行規則、庁舎管理規則				実施期間	【開始】	令和 / 平成 17 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	効率的で透明性の高い行財政運営						
事業の対象	市民・市職員			事業の目的	施設の機能、役割、運営方法の検証を行い維持管理費の削減に努めつつ、適正な施設・設備の維持管理を行うことで庁舎保全と公務の円滑な執行を確保する。		
事業の内容 (整備内容)	双海地域事務所及び下灘コミュニティセンターの維持管理			昨年度の課題に対する具体的な改善策	双海地域事務所及び下灘コミュニティセンターは、建築後、数十年の期間が経過しているため、経年劣化等による修繕箇所が増加している。そのため、修繕計画を検討すると共に、公共施設個別管理計画を策定する必要がある。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	20,993	25,673	0	641	0	23,860	需用費	千円	9084	12209	5307	10463
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	1,608	600	0	0	0	582						
一般財源	19,385	25,073	0	641	0	23,278	役務費	千円	1010	1212	455	914
職員の人工(にんく)数	0.45	0.45				0.45	委託料	千円	10399	10914	8455	10485
1人当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	24,589	29,188				27,375						
主な実施主体	嘱託職員1人を含む直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				工事請負費	千円	342	530	783	1425
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
					20,846	20,846	20,846	20,846	20,846	104,230		
成果指標	指標	双海地域事務所管理費の実績			⇒	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標 毎年度		
	指標設定の考え方	双海地域事務所(下灘支所を含む)の維持管理費の節減を図る指数を設定した。				目標	20846	20846	20846	20846		
	指標で表せない効果					実績	20835	23287				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		双海地域事務所及び下灘コミュニティセンターは、建築後、数十年の期間が経過しているため、経年劣化等による修繕箇所が増えている。場合によっては、突発的に大きな金額の修繕や工事が発生することもあるので、計画的に対応していく必要がある。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	B	事業成果・工夫した点	一度に大量の修繕や工事の発注をせず、緊急性や優先順位をつけて、計画的に対応することが概ねできた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。	3					
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	修繕については事前に把握のうえ計画的に対応していても、必ず不測の案件が発生する。	
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 双海地域事務所、下灘コミュニティセンターは双海地域における公務執行及び地域住民の活動拠点として必要な施設であり、事業継続が必要と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。	3						
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	所属長の課題認識	公共施設の個別管理計画を基に、今後の修繕計画を立て、管理していく必要がある。		
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		■	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 【行政評価委員会委員選定事業】	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が利用するために必要な施設である。継続して使用できるように維持管理に努めてもらいたい。 ・中山より、施設規模が大きいため基本的な維持管理費も大きくなってしまふ。しかし、両地域の人口規模はほぼ同じであるため、地域住民が使用するのに必要な施設面積もほぼ同じだろう。施設機能のコンパクト化も検討してはどうか。 ・特定の年に予算が集中しないように、様々な努力をして、修繕等を分散しながら実施している点は評価できる。 ・エントランスホールは施設の顔であるのに、印象が暗く重い。今や双海は一大観光地であるため、情報を求めて来所する観光客もいるだろう。来所者にどんな印象を与えるか、どんな影響を生み出すかを考えて、管理してもらいたい。 ・予測を超えて地域社会の人口減少が進む中、施設の維持管理は長期的な視点をもって、計画的に対応すべきである。
------------	------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	コメント欄 計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図るとともに、市政情報の発信など、ロビーの有効活用を図ること。また、活動指標に来所者数等を追加すること。